駿河國志

特1000
8

国立国会図書館　　駿河国志 8巻　特1000-8

ガラス使用

特1000
8

駿河國志卷第三目録

在番次第之二
御城代譜
御定番譜
町奉行譜
御代官譜

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

○堀部弥兵本府人事内匠頭浅野侯府人某家藏赴義前
一日贈叔母妙甫書妙甫住柚木巷云
○釵工加卜上河原人本姓森氏後改大村蓋大村卜三字離合為
森字也由井正雪嘗招加卜加卜笑而不笑獨語曰童餅而啖
勢必不可無幾正雪敗人服其先識後事水戸侯
○松木新左府兩替巷人與江都大賈紀文承買官枝致巨
萬今木客所用約書即二人所定也新左帥熊沢氏修
良知学又精筭術為人好義一歳大饑傾家賑濟因以
全活者甚衆官褒之
○戯作者十返舎一九府産人

駿河國志巻第三
駿府在番次第二
享保元申年
○三浦肥後守 御書院十番組 組 [illegible]
加番 酒井大学 一万石 一柳周幡守 法目付 五千石 水野[illegible] 二千石 井上左門 五千二百石 酒井日向守
御城[illegible]被損金無限之所定或高三千両之相撰の併二ヶ法名[illegible]
[illegible]
今年ゟ[illegible]
同二酉年
○酒井周幡守 御書院四番組 三千石 組 [illegible]
組 [illegible] 松浦[illegible] 法目付 [illegible]

国立国会図書館 駿河国志 8巻 特1000-8
ガラス使用

加番　一万八千石　関備前守　[illegible]　[illegible]　中根宮内

酒井周備守信病気法役御免　[illegible]　二月六日　[illegible]

同十六日江戸[illegible]

同三成年

○松平駿河守　法書院文書組五千石　組[illegible]

組[illegible]　松野[illegible]　法[illegible]　[illegible]

加番　一万石　立花山雲[illegible]　本多帯刀　戸田[illegible]

東御門[illegible]法[illegible]同[illegible]弘法定書組同[illegible]盗[illegible]

法[illegible]十六人[illegible]罪　四人[illegible]十[illegible]人[illegible]行刑[illegible]

朝鮮人来聘享保四[illegible]九月廿日駿府[illegible]三ヶ寺[illegible]

法[illegible]加番立花[illegible]戸田[illegible]　[illegible]法[illegible]法[illegible]　林

又[illegible]　[illegible]

町[illegible]行　津田[illegible]　[illegible]

御定書　[illegible]　[illegible]

同四[illegible]年

○井上[illegible]守　法書院六書組　組[illegible]

組[illegible]　水野[illegible]　法[illegible]　[illegible]

加番　一万石　一柳[illegible]守　[illegible]　[illegible]

十月廿二日朝鮮人[illegible]國[illegible]　駿府[illegible]　[illegible]三ヶ寺[illegible]

人加番一柳[illegible]　[illegible]　[illegible]法[illegible]

御城代　青山備前守　[illegible]　[illegible]八月十二日[illegible]

同[illegible]年

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

○ 清和院七五組 六千石
裏川下総守
組頭
加番
迫殿十箇 千四百石
加殿大藤輔 一万石
同六丑年
○ 清和院一番組 二千石
酒井對馬守
組頭
加番
秋元小十郎 三百石
佐竹左伎守 一万石
同七寅年
○ 清和院二番組 三千石
永井宮内 ゆり後御營 叔齋 黄鶴号
組頭
加番
京橋与対 千五百石
市橋左伎守 一万八千石
組頭
清同付
秋田 五千石
鎌倉内通 千五百石
小濱縁 三郎 六千石
清同付
水野十箇 六千石
川勝 刑部 二千五百石
能勢 七十郎 四千石
清同付
河内大学 八千石
稲葉求馬 三千五百石
武田刑部 六千石

同八卯年
○ 清和院三番組 五千石
酒井日向守
組頭
加番
三宅 千七百石
上松 一万石
清同付
水野 五千石
佐野 千二百石
松平 五千石
同九辰年
○ 清和院四番組 五千石
二条木伊勢守
組頭
加番
大岡 千四百 三十五石
立花出雲号 一万石
御城代
酒井下総守 青山備前守
組頭
清同付
大島雲 五千石
水野 五千石
内藤 五千石
伊勢 七月九日 五十五
同十巳年
○ 清和院元十番組 今年ゆり 四番組 二歳ゆり
内藤 五千石
前守
組頭

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

組頭　内藤傳十郎　佐目付　細井周鳴守
加番　青木出羽守　三宝賀各庫　二花房三十郎
長福様佐弘之郎　二丸ニ佐右組ニ相成九番組　安藤伊勢守　一番組
曽我周防守去辰十月十又日二丸ニ出ル　附ニ依テ　後府在番　御
八組ニ相勤ル付　翌年九番組在番ニ所　右ニ付　十番組ニ在番　去
寅ノ日佐ニ御　二番組ニ　今度一番ニ　八組ニ相定　一番ニ九
番ニ　二番組ニ　今年ニ一番組ニ相成　二番ニ　八番
組迄一度ニ上ニ　探ニ　二番ニ　十番　内藤越前守　八番組ニ相
成中ニ
同十一午年
○秋元筆人正　佐ニ御　三番組　元ニ四番ニ　文ニ　組ニ

組頭　中山擅　七百石　佐目付　松平長郎　三千石
加番　松平迎　二万石　久世　五千石　皆川左京　五千石
町奉行　小幡　津田加賀守　佐付ニ　午十月十日　知ニ
佐定番　佐野　彼方　佐付ニ　未壬正月二日　知ニ
同十二未年
○石川丹後守　佐ニ御　四番組　元ノ五番　七千石　組ニ
組頭　石尾　二千二百石　佐目付　三千石　臣桐帯刀
加番　松平備前守　二万石　内藤彈正　五千石　闕　各郎
石川丹後守申九月八日病死　代　松平伊勢守早養ニ成九月廿一日
同十三申年
○松平伊勢守　佐ニ御　文番組　元ノ二番　五千石　組ニ

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

組頭　二千五百石 戸田外記
加番　一万石 酒井越前守
御目付　五千石 阿部出雲守
組頭　千五百石 松前隼人
四千石 井上左衛門

○同十四酉年
会田周防守　御書院六番組元ノ七番
組頭　七百石 土屋忠三郎
加番　一万石 松平播磨少輔
御目付　五千石 渡辺隼人
三千石 大久保主馬
四千五百石 菅沼小左衛門

○同十五戌年
朽木信濃守　御書院一番組元ノ二番　後和泉守　六番
組頭　二千七百石 朽木修理
加番　二万石 岩城伊豫守
御目付　五千石 横田甚右衛門
五千石 松野孫左衛門
五千石 小笠原大膳
町奉行　小普請組 筧新太郎
仙台(?)　八月十七日

右破損定式金子三千両之内ニ而御城代酒井日向守伺之上取来り右
上ル　修覆仕
御城内掃除場御本丸ハ御書院右書院割合二ノ丸御門
内外共右書院東条造御門より橋迄大御門迄ハ右定番西丸ハ御
城代三ノ丸大手横内御門より出入河内御番所迄ハ御城代 四ツ足門
右つ出ル流番所迄ハ右定番 定番所 御破損 御入用
与力 小屋 東西 右番所 小屋 右櫓 仕 右書院 番所 小屋
番所 小屋 之面 組頭 小屋 ハ 組頭 之向 ニ而 掃除 持場 之 [illegible]
[illegible] 修復 右入用 被損 金之内ニ而 被損 方 [illegible] 修
右之代り 自分 前 右敷 右掃除 一向 無之 ニ而 御城代 右定番 右書
取 月番 ニ而 頁 右 御 掃除 方 絵図 伺之上 足 [illegible] 修覆

同十六壬年

○大久保光前守 二番組 元ノ二番 五千石 子ノ八月十日改稱 三百石 栗原代大馬 一万石 谷山羽守

組頭

加番

十月十八日二加番小屋ヲ熊一足 法石垣ヲ新城 法城内ニ 遠入ニ 法書院組 大ノ 榊原宇大馬 小屋ヲ内ニ 遠入居ニ 洛地ニ 討殺 中ニ 同ニ 猶原利平 ヲ 玉同十女 町奉行 鳴角大馬 ヲ 伊守ニ

二月六日未上刻 新谷町ヲ出火 伊豆町 桜田迄 焼失

同十七子年

○二ノ木伊勢守 二番組 元ノ八番 五千石 二千石 能勢市十郎

組頭

加番

伏行 一万石 ヲ 伏守 三千石 玄城 四千石 ヲ 殺 小出 四千石 ヲ 討

今年 卯曲輪 法城ニ 猪一足 落入 死中ニ

同十八丑年

○戸田古佐守 法書院 八番 元ノ十番 七千石

組頭

加番

法定番

内藤傳十郎 二万石 九鬼大隅守 伏見ノ大番組 永井采女ヲ 伊豆ヲ 伊豆ヲ 病氣 發 府ニ 来 忌ニ 不 依

組頭

法同付

岡部 三千石 ヲ 伏

石河ヲ 税

宇津大学

六月十六日 御先手 松平大学大夫 京都御用 登ニ 命 法城入出ニ

同十九寅年

○阿部志摩守 法書院 三番組 元ノ五番

組頭

法同付

阿部伊織 三千石 ヲ 伏

黄枝帯刀 四千石 ヲ 伏

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8

ガラス使用

組頭　六百石 長田新右衛門　同目付　二千石 金田采女

加番　万石 稲垣播磨守　三千石 大久保玄蕃　五千石 堀田頼母

定番　松平民部少輔　代り 九月六日卒

御城代 酒井修理大夫 正月ゟ七月迄在之候

同二十卯年

○ 松平周防守　使番組 四万五千石

組衆

組頭 一万五千石 逸見八左衛門　組衆

加番 内藤播磨守　同目付 七百石 神保右近　神尾市左衛門　四千七百石 本多日向

組頭逸見八左衛門病気ニ付代 青秋豊(?)り 組頭跡部長十郎

九月廿日交代 九月迄相勤メ申候

元文元辰年

○ 水野丹波守　使番組

組頭　二千五百石 跡部長十郎　組衆

同目付　松平伊左衛門

加番　三千石 織田下野守　九千九百石 本多修理　四千五百石 中根平十郎

御城代　酒井下総守組 板倉下野守　代 正月卒

町奉行　徳角左衛門組 松浦与次郎　代 六月十一日卒

定番 松平兵部少輔 去巳七月[illegible]秋田信濃守[illegible]

夜中自由ニ[illegible]

同同(?)ニ[illegible]

同目付[illegible]八月[illegible]

定[illegible]十郎引[illegible]九月二日

[illegible]幸十郎[illegible]

於町奉行所法自付能勝 意四郎立合法定書 組与力 同心 与力
峰出ニ民部在勤中ニ[illegible]ハ尋 認ニ口書 [illegible]出ニ[illegible]ハ支合 御城代
与力 同心 町奉行与力 同心 民部方ニ出入ニ町人迄ハ尋ニ[illegible]ニ認ニ口
上ニ[illegible]出ニ[illegible]

同二巳年

○ 御津山城守 法名院 六番組 三千石

組頭 田付 又四郎 一万二千石 久留御二使者

加番 久留御二使者

組 [illegible]

法自付 津田外記 三千石 三枝名庫 蒼谷左門

法城代 法定番 町奉行 三法役 [illegible] 法修復 [illegible] 西丸 [illegible] 角三ニ法
石垣 [illegible] 法人用 江戸 [illegible] 為行 [illegible] 巳十一月六日 [illegible] 法勤定 [illegible]
宮田 [illegible] 支能 勤定 矢 [illegible] 大和 同附 伊賀 同心 [illegible]

[illegible]十一月下旬 宮田 [illegible] 江戸 [illegible] 右 [illegible] 法勤定 谷田
又 [illegible] 午三月 [illegible] 同九月 [illegible] 惣出来 何義 [illegible]
久能山付 同代 [illegible] 悪事 [illegible] 祢宜 [illegible] 入
[illegible] 江戸 [illegible] 法役 [illegible] 江戸 [illegible] 此 [illegible]
[illegible] 法 [illegible] 大東 [illegible] 法 [illegible]
久能山 同代 [illegible] 岸本 [illegible] 物 [illegible] 仰付 十二月 [illegible]
同 三午年 法定番
○ 青山丹後守 法名院 一番組 五千五百石

組頭 久世 [illegible] 一万石 一柳 [illegible] 松平 [illegible]

組 [illegible]

法自付 小濱 [illegible] 仰付 未正月 [illegible]

稲生 [illegible] 大田 [illegible]

同 四未年

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

○高力橋津守（清水院 二番組 三千石）

組頭

加番

猪飼半太郎（八百石）

毛利濱岐守（一万石）

組共

清目付

永井大蔵（七千石）

稲生左門（千五百石）

石川又四郎（四千石）

同五申年

○松平采女正（清水院 七番組）

組頭

加番

松浦淡市郎（八百四十石）

池田丹波守（一万石）

組共

清目付

小笠原隼人（四千七百石）

牧野八十郎（千五百石）

秋山主殿（四千三百石）

寛保元酉年

○大久保對馬守（清水院 番組 五十二百石）

組頭

加番

松平主庫（一万石）

松浦大和守（一万石）

組共

清目付

久貝逸馬（五千五百石）

菅沼蔵三郎（五千石）

鍋島内匠（五千石）

同二戌年

○本多修理（清水院 三番組 九千九百石）

組頭

加番

川口義太郎（千七百石）

京橋出羽守（一万石）

組共

清目付

戸澤内記（七千石）

松地三四郎（千五百石）

久永修理（四千石）

同三亥年

○松平日向守（清水院 四番組 二千石）

組頭

加番

曲渕市太郎（千五百石）

青木田斐守（一万石）

組共

清目付

大久保伊藤（六千石）

細井伝兵（千五百石）

伊東宋女（五千石）

延享元子年

○戸田侍後守（清水院 五番組 六千二百石）

組頭

大井七郎兵衛（三百石）

組共

清目付

三渕[illegible]（十二百石）

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8

ガラス使用

加番　六郷伊賀守　船越左馬　一柳要人

一柳要人依病気為代秋元集人也六月悪翌年迄浩然中ハ

同二巳年

○室賀下総守　組共

組頭　設楽若馬　浩同付　真津帯力

加番　柳澤兵部少輔　神保左衛　松印集人

同三寅年

○皆川山城守　組共

組頭　戸田庄馬　浩同付　設楽若十郎

加番　南部遠江守　源部城之進　中坊左衛

同四卯年

○高力若狭守　組共

組頭　狭飼来左馬　浩同付　杉植三四郎

加番　前田大和守　池田備中守　遠山兵部

寛延元辰年

○青山兵浩守　組共

組頭　蒼沼図書　浩同付　小塚宇稲

加番　加茂山雲守　大久保吉蔵　井上修理

浩定番　大久保江七三郎　伝付辰八月悪

町奉行　小幡又十郎　伝付辰十二月悪

蒼沼図書已二月病死為代来巳年中之組阿部出羽守組頭組替

伝付已四月悪　平岡四郎七番組与頭ニ成

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8

ガラス使用

菅沼源兵衛 俠士共弟源吾 大久保忠右衛門 同出奔ニ付 不届ニ付 本高ニ十石 御代官松平新助 御代官 前田清兵衛 御代官 伊奈善兵衛 御代官 右之者共 味方ニ而大坂籠城中 兼而内通致し 大坂ニ而 御門指物 旗印 幕頭 幕書中 幕紋 御定人 軍令 七月廿日 堺迄 追放 申渡 候 尤 於江戸 屋敷 所持 之 諸道具 改 無 之 候 間 其儘 差置 候 仍 而 如 件

一 本高ニ十石 御代官 伊奈善兵衛 御支配 阿部出羽守

組 与力 同心 計 百 御人数 内 七十 騎 弓 三十 張 鉄砲 二百 挺 内 五十 挺 玉薬 入 箱 二十 合 馬 二十 疋 内 十疋 荷駄 鞍 置 候 事

一 本高ニ十石 御代官 伊奈善兵衛 御支配 石川伊予守

組 与力 同心 計 百 御人数 内 七十 騎 弓 三十 張 鉄砲 二百 挺 内 五十 挺 玉薬 入 箱 二十 合 馬 二十 疋 内 十疋 荷駄 鞍 置 候 事

一 本高ニ十石 御代官 伊奈善兵衛 御支配 安藤帯刀

組 与力 同心 計 百 御人数 内 七十 騎 弓 三十 張 鉄砲 二百 挺 内 五十 挺 玉薬 入 箱 二十 合 馬 二十 疋 内 十疋 荷駄 鞍 置 候 事

一 本高ニ十石 御代官 伊奈善兵衛 御支配 松平新助

組 与力 同心 計 百 御人数 内 七十 騎 弓 三十 張 鉄砲 二百 挺 内 五十 挺 玉薬 入 箱 二十 合 馬 二十 疋 内 十疋 荷駄 鞍 置 候 事

一 本高ニ十石 御代官 伊奈善兵衛 御支配 阿部出羽守

組 与力 同心 計 百 御人数 内 七十 騎 弓 三十 張 鉄砲 二百 挺 内 五十 挺 玉薬 入 箱 二十 合 馬 二十 疋 内 十疋 荷駄 鞍 置 候 事

一 本高ニ十石 御代官 伊奈善兵衛 御支配 石川伊予守

組 与力 同心 計 百 御人数 内 七十 騎 弓 三十 張 鉄砲 二百 挺 内 五十 挺 玉薬 入 箱 二十 合 馬 二十 疋 内 十疋 荷駄 鞍 置 候 事

一 本高ニ十石 御代官 伊奈善兵衛 御支配 安藤帯刀

組 与力 同心 計 百 御人数 内 七十 騎 弓 三十 張 鉄砲 二百 挺 内 五十 挺 玉薬 入 箱 二十 合 馬 二十 疋 内 十疋 荷駄 鞍 置 候 事

牛十月 築城 修復 ニ 被 掛 候 節 入用 町 年行 立 合 中 ノ 報 ニ 依 テ

一 築城 代 詰 定 書 町 年行 ニ 詰 役 御 用 詰 書 ハ 不 及 申 候

小屋 町 ハ 四 ヶ 年 ニ 建 ニ 加 番 小屋 ニ 詰 役 慶 ノ 詰 用 詰 勤 迄 組 ハ

依 ノ 号 ノ 名 ヲ 以 詰 勤 定 勝 屋 詰 来 未 二 月 廿 日 ノ 如 ク

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8

ガラス使用

寶暦元未年

○佐野右衛門（佐野院四番組）三千石

組頭　三百石 沢名孫助　佐同付　山邑又市郎

加番　二万又千石 相良志摩守　紫田七九郎　松平監物

同二申年

○芳我伊賀守（佐野院又番組）七千石

組頭　大井七郎衛門　佐同付　三千石 中山勘解由

加番　一万石 藤野[illegible]守　又千石 茂枝帯刀　滿川[illegible]庫

御城代　松平周備守組 古屋[illegible]少輔[illegible]　伝付七月[illegible]

佐城同卯[illegible]後所仕[illegible]

伝付[illegible]

御老中松平右近将監京都佐用登之節佐城同卯[illegible]

見六月廿七日[illegible]

同三酉年

○朽木和泉守（佐野院六番組）六千石

組頭　梶四郎衛門　佐同付　向坂清太郎

加番　一万石 上松駿河守　七千石 富田[illegible]郎　四千石 石川右京

石川九京六月六日病死[illegible]　[illegible]津小[illegible]　七月廿[illegible]日[illegible]　[illegible]九月

近[illegible]

富田[illegible]郎[illegible]病気[illegible]　八月十四日[illegible]

九月二日[illegible]　[illegible]年[illegible]

同四戌年

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8

ガラス使用

○久世長門守（法名院 一番組 五千石）

組頭　同安法大馬　法同付　遠藤源六郎

加番　大田原山雲馬（一万二千石）　夜藤左衛門（六千石）　米津小左衛門（四千石）

年頭男女法大馬門十二月病死　為代今田遠江守組頭　去歸

三郎名儀　組替之　伝付　貢　正月　忌

同又貢年

○金田遠江守（法名院 二番組 三千石）

組頭　長山百助（千三百石）　法同付　酒井小平氏（二千石）

加番　関後應守（一万八千石）　酒井分頭（七千石）　井上帯力（又千石）

同六子年

○森川作総守（法名院 七番組 八千石）

組頭　大久保平四郎（千石）　法同付　桜井監物

加番　池田勝少輔（一万三千石）　松浦甚之元（七千石）　二宮木帯力（四千石）

御老中西尾隠岐守九月四日御城出之

二丸北ノ角法石垣法修復為御用小普請方　窪田十左衛門　山徒

伝役　家部正助　改役下役　三宅源兵衛　手代　苛深今内　松村貢十郎　石方

掛梁　正木宗名儀　大工掛梁　杢之助　石方肝鷲　源助法眉人　江市蔵（七十人）

右之両之又月十日至忌

同七丑年

○花房近江守（法名院 八番組 六千石）

組頭　平岡与太郎（三万石）　法同付　建部民部（二千石）

加番　片桐石見守（一万又千石）　溝口大膳（又千石）　大橋玄庫（又千石）

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8

ガラス使用

二丸 法名 [illegible] 土月 三日 役人 江戸 伺府

同八寅年

○井沢 [illegible] 三番組 三千二百五十石 [illegible]

組 [illegible]

加番 [illegible] 二万三千石 [illegible]

組 [illegible]

法同付 [illegible] 千五百石 [illegible]

[illegible] 四千石 [illegible]

去年法 [illegible] 西丸 法名 [illegible] 二月 三日 再 [illegible]

再 [illegible] 法 [illegible] 一番 [illegible] 九番 [illegible]

[illegible] 四月 [illegible] 政役 [illegible]

吟味役 [illegible] 政役 [illegible]

二人 [illegible] 同付 [illegible]

大工 [illegible] 大工 [illegible] 二人 [illegible]

江市 [illegible] 三月 [illegible] 役人 伺府

法定番 [illegible] 神谷 [illegible] 伺付 八月 四日 [illegible]

同九卯年

○上田 [illegible] 五千石 [illegible]

組 [illegible]

組頭 [illegible] 三百石 [illegible] 法同付 [illegible] 秋元 [illegible]

加番 [illegible] 一万石 [illegible] 一柳 [illegible] 四千石 長谷 [illegible]

番 [illegible] 伺付 [illegible] 組番 [illegible] 伺付 [illegible]

又 [illegible] 西丸 法番 [illegible] 上田 [illegible] 伺付 [illegible] 組中 [illegible] 十月

三日 四日 番 [illegible] 同十一日 [illegible] 入 [illegible]

御城代 久世長門守 [illegible] 伺付 [illegible] 三月 廿五日 [illegible]

同 十辰年

国立国会図書館 駿河国志 8巻 特1000-8
ガラス使用

○浄光院五番 大久保豊後守 五十七

組頭 四百石 池田数馬　組衆 右同断

加番 二千石 松平主膳正　七百石 安藤長四郎　千五百石 諏訪靱負　四千石 菅谷主膳

御老中井上河内守正月廿日御城内御法度見分として

同十一巳年

○浄光院六番 稲葉紀伊守 三十二歳

組頭 七百石 粕谷友部　組衆 右同断

加番 一万石 小笠原遠江守　五千石 小笠原民部　二千石 中山右馬　五千石 皆川左京

八月廿二日加番久津見又助二ノ丸御堀小側ゟ落相果死骸清輪寺

上弥ヶ嶽伺として江戸ゟ参り候

同十二午年

○浄光院一番 大久保下野守 二千五百石

組頭 六百石 天野三郎兵衛　組衆 右同断

加番 一万石 前田大和守　五千石 内藤甚四郎　五千石 松平求馬之助　四千石 滝川大学

同十三未年

○浄光院二番 今田遠江守 三十七

組頭 千三百五十石 長山百助　組衆 右同断

加番 一万石 青木美濃守　五千石 大久保彦兵衛　千八百石 藤田八郎左衛門　四千五百石 柳生主殿

御役御免御小屋御役御免御目付小林市左衛門 改役小知

藤大夫下役 中川源右衛門 林部半平 伊賀之者本郷伊左衛門大工棟梁大谷甲斐守代

御勘定横田平三郎支配勘定会所伊八日帰御役指股要之介笹川

運四郎 跡以孫兵衛 右掃除之者六人 三月二日出立 十月迄相勤

今年朝鮮人来聘殿府豆体内地之人前々三加番之恐ありと
而今度は佐地之人内蔵丹波守ならば 仙台三加番之面々府中
江戸丸子之警固ニ 仙台は

明和元申年
○ 佐野 七番組 日向守 六番組
組 佐 仁賀保兵庫 一万石 佐 同付 二万石 仙石治兵衛
加番 立花出雲守 一万石 大久保金次郎 五千石 仙石兵庫
佐城代 花房近江守 久世長門守 仙台は 十月廿七日 至長

同二酉年
○ 酒井備中守 佐 八番組 五千石
組 佐 平岩与右衛門 三万石 佐 同付 安部丸之亦

加番 一柳右衛守 一万石 近藤丸之亦 二万石 堀田主膳
佐城代 蒼沼織部正 花房近江守 仙台は 四月長

同三戌年
○ 東田丹後守 佐 三番組
組 佐 酒井 五万石 建部荒次郎 佐 同付
加番 一柳英濃守 二万石 青山百助 宮津橋五郎
亥三月十二日 丹後守病死 代 松浦出雲守 文月六日 到長
佐定番 神谷与二郎 久留島救馬ニ 仙台亥二月廿五日 到長

同四亥年
○ 今田能登守 佐 四番組
組 佐 安山弄三郎丸馬 佐 同付 村上内記

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

加番　織田丹後守　戸田孫十郎　曲淵勝三郎

町奉行　中坊左近同　保科子十一月迄

○同五子年

御書院五番組　七百石
本多備後守　組下

組頭　六百石　津野今太夫　御目付　五百石　菅沼新三郎

加番　加藤近江守　大森鐵次郎　四百石　秋元一学

御城代　菅沼織部正組　武田越前守ニ　保科九月十九日迄

○同六丑年

御書院六番組　七百石
曽我若狭守　組下

組頭　三百石　能勢市兵衛　御目付　五百石　阿部式部　二百石　植村与市八

加番　一万石　九鬼式部少輔　五百石　横山左門

横山左門病死ニ付為代　秋元酒井玄蕃　寅六月十七日着　翌卯年
迄相勤
十二月廿二日御先手阿部伊豫守御城入御目見有之候
同七寅年五月五日大風雨有之候処異国船当國興津寄之浦江朝鮮國
之内領巖嶽之者漂流駿府町奉行代官見分済江
江戸表江言上有之大坂江送リ夫ゟ長崎江送リ候由　但シ右船有
之六月五日興津ゟ沖出之処朝鮮人都合拾三人也　損船ハ浦
傳ニ送リ申候

右ハ府甲府勤番支配町人を以翰御吟味之奉
之存寄之上也　十二月改写之由同月廿九日
奉書之

○御書院一番組　三百五十石
小幡安房守　組下

同七寅年

組頭　六百石　大久保大膳　御目付　牛込左太夫

加番　一万石　青木伊織　五十石　井上頼母　五十石　酒井玄蕃

陸被損陸入用令定式七百両之所此貨半減之者　伊豆は去宮年
早損之國々為御殿入かゝり候ゝ故陸繪物者　伊豆ゝ御太ゝ御置
卯四月廿日陸奉書到来

同八卯年

○永井美濃守　陸出流二番組　三万石　組長

組頭　七万石　堀内膳　陸同付　算新太郎

加番　一万石　谷橋麿　酒井安宮　又万石　南部徳次郎

町奉行　中清水道経　永井宗安　伊豆卯十二月十九日到来

陸勤定組頭　菅田新助　御勤定　若林市太郎　ゝ勤分ニ候甲八
辰二月為到来　三丸南例書頭様　ニ名垣嶺而檢地井垂ニ十九日鳴府

辰八月二日天気能ゝ而七ツ時分ゝ暴り而後出雲時ゝ大風雨ゝ時
少前風止中ゝ遠州荒井ゝ江戸房州迄西殿制限ゝ東殿渡ゝ
朝程遅り大風吹中ゝ御城町在其ゝ大破壊諸木吹倒中ゝ

同九辰年　十月改元　安永ゝ改元　江戸大火　伊豆守　十日同ゝ二月類焼八月
大風　高家衆ゝ本所倒中ゝ

○森茂伊豆守　陸出流七番組　七万石　組長

組頭　五万石　黒川友之助　陸同付　建部六太郎

加番　一万五千石　池田丹波守　又万石　戸田大学　四万石　冥伊織

冥伊織病気ゝ家来ゝ来ゝ候ゝ御ゝ通ゝ交代ゝ流伊織ゝ続ゝ被府ゝ
養ゝ家来ゝ在勤仕ゝ陳中ゝ
尚秋大風御城内卯陸被損而町奉行立合候ゝ陸入用可致言之
合十月廿七日陸奉書到来

巳酉月十二日夜亥刻より連雀町辺より出火浅間山宮へ出火移り
浅間惣社末社神殿門々迄悉焼亡ス名古屋の宮斗免災あり
外支配之惣二王門茶屋り入口鋼杁之所焼失
安永二巳年
○
古坂淡路守　諸大夫 八番組 二千三百石
組頭　河野勝右衛門　組太
六百石 稲垣前守　諸目付
七百石 近藤蔵之助　五百石 信田一学
加番　秋田十大夫
増被損其行相止諸被損其行家来ニ奉行向後御公儀町奉行
組与力弐人同心四人定勤之　但外ニ出合浅被損所見付同論
見任場所附込与力之　但与力　町其行組与力　刀不献し進
大森茂左衛門　同心四人右ニ名今年より諸被損所見分定勤ノ役也
勤中ハ与力ハ出役扶持五人扶持同心ハ壱人半扶持宛下さる也
諸勤定組内倉橋与四郎　諸組ニ其行小柳七左衛門支配勤定　三名
所大庫ノ出役之　江原源五郎ロ番諸役　橋内鋼助　勤定役飯田義八郎
小役人高木園七　多代草間源次郎　定普請同心赤塚十四郎　大行今年
大棟梁甲良筑前　与力　持梁二人職人廿人御城入同心ニ付見分也
同三午年
○
西郷筑前守　諸大夫 二番組 五千石
組頭　戸川安十郎　組太
六百石 堀淡路守　諸目付
七百石 池田九門　信田一学
加番　五千石 船越式部
諸被損方町奉行勤ム之　但諸被損其行同様ニ三年行之
東御城代ニ相達可勤之　御案内諸普請役定番諸被損方之義
右被召候其三ケ年行支配之　午十二月十九日　諸奉行書

国立国会図書館　駿河国志 8巻 特1000-8
ガラス使用

同廿一日ゟ寄集
御城内御掃除御石垣並兎角様並御堀並ノ斗御用ニ付御茶
道具ノ並取並刈ハ御番所人夫差出掃除可仕旨御達書
同断ニ付寄集
御定番　奥津内記　久留島信濃守跡　御役午十二月迄
〇
同四未年
御書院番組
沼谷隠岐守
組頭　川勝采女　御目付
組頭　川勝權之助
加番　大岡飛騨守　七月ゟ書役　長坂九兵衛
　　　竹嶋帯刀
今年ゟ久能山御宮遷宮ニ付御勤定奉行御作事方役人駿府
着ニ付

御城内二丸之内御橋御多門御櫓御本丸并御櫓塀御門御櫓
御役寄小普請方古郡　但寺未九月ゟ追々出来　小普請方請取
又八月改役小野麟太郎同所請役見分十郎ゟ従役長坂俊之
長谷川馬ゟ兵組頭平野新左衛門伊賀之者小渡平助改役下役
石橋七郎右衛門加藤平右衛門兵代四人手付役人立会
御本丸御殿并御塀御門并御橋御殿出来請取御橋ニ丸之門
并御書院御金蔵同所後御多門喰違御多門御武具御多門辰巳
御橋向御多門東御門御多門東御書院御番所勤定場御蔵所
御門并御番所御櫓出来御玄関前御門御塀水門御多門
小御門并御書院御城代御定番四脇屋御書院小脇并手ヲ同心
小屋町奉行所御番三小屋丸御銘出来之申又月御所出来申ニ

陸書院組民川勝平太郎死去代り大塚平太郎七月初惡

同文申年

○太田駿河守（陸書院文書組 文書記）　組元

組民　須田門匠　陸目付　向坂義十郎

加番　織田鎮前守　書平之部　茂恵　栄女

松平兵部前六月病死　為代　石川山平七月十九日初惡成

秋迄詰城中ニ

同六酉年

○曽城若狭守（陸書院六番組）　組元

組民　日根野吉太郎　陸目付　大島雲平

加番　上杉駿河守　石川山平　井上修理

十一月十二日御先中松平周防守御城入二丸御橋御普請守二丸

頼尚陸ツメ切ル大手御門ヶ陸入四足陸ツヨ陸道校　御城出也

二丸陸橋陸普請ル成三月十八日迄御書院与力同心東陸ツ

相勤ル

同七戌年

○朽木和泉守（陸書院一番組 六番組）　組元

組民　日向次郎八郎　陸目付　中山（三千石）勤解由

加番　上杉弾正　長田庄文郎　濱川金庫勤

御城代　本多淡路守（武田越前守）　伝付十二月朔日惡

同八亥年

○永井英隠守（陸書院二番組）　組元

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8

ガラス使用

組頭　安倍又四郎　詰同付　七屋敷馬
加番　関橋麿守　萩集人　長谷川第三郎
子四月十一日御先中田沼主殿殿御城入所々詰見　左之ハ
御本丸西丸之輪ニ而ハ御ノ内ニ付　右殿之三ヶ所ニ御ノ内ニ付　右殿殿
詰見ニ而ハ八重ニ付ニ而ハ　當時迄御城代詰定番組同心又人宛出中ハ
無役相止中ハ
御定番　水野彈正守　毎津内記組　仰付又月三日
同九子年
○齊藤伊豆守　詰本院七番組
組頭　黒川友之助　詰同付　水野要人
加番　冨倫前守　酒井秀之助　松平信之先

子十月御城代本多演路守　家中廿七歳之小屋ニ而ハ九時出来
左之ハ迄詰ニ中ハ見ニ相伺左之ハ不可有之ニ而ハ
丑七月十二日御先中ノ人世大和守　御城入所々詰見ニ而ハ
左之ハ
天明元丑年
○浅野倫前守　詰本院八番組　三千石
組頭　花村三郎兵衛　詰同付　三好帯刀
加番　小條相模守　一万石　神保宮膳　吉本絶家之助
詰定番　本下左門守　水野彈正組　仰付　寅三月十又日之日
同二寅年
○小堀河内守　詰本院三番組　三千石
組頭

組頭　大河原源太郎　店同付　安藤治太郎
加番　柳澤伊賀守　室賀源七郎　本多帯刀

同三卯年
○酒井（店女院四番組）對馬守（二万石）　辰四月廿日改名隠岐守　組頭　渡邊藤太郎（三万石）　加番　一柳右衛門守（一万石）　店同付　秋田内膳（又千石）　是新太郎（四万石）　黄校外記

辰七月八日御老中牧野越中守京都警衛御城入候
見在之

同四辰年
○酒井（店女院五番組）紀伊守（七万石）　組頭　日根野橋十郎（千三百石）　店同付　竹中主水（二万石）

加番　堀内藤（一万石）　皆川福命（又千石）　米津小吉（四万石）
御城内御殿向諸店無之　店堀内小屋　趣ニ修復當年ヨリ
三ヶ年之間ニ沢山来ル　仰付　強府町村行　趣ニ
仰付金六千両相渡ル　江戸ノ役人来ル

同又巳年
○大鳴肥前守（店女院六番組四千七百石）　組頭　冷木杢之助（四百石）　店同付　藤房勘太郎（千石）
加番　伊東伊豆守（一万石）　溝口修理（又千石）　松平隼人（四千石）
御城代　小條安房守（本多淡路守組）　仰付

同六午年
○松平志摩守（店女院一番三千石）　組頭

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

組頭　[illegible]
加番　[illegible]　[illegible]

[illegible]

天明七未年十一月廿六日[illegible]町[illegible]
社中一宇不殘燒失[illegible]
小路[illegible]火之加番稲葉[illegible]燒失
寶暦二戌六月[illegible]
[illegible]府在番年々交代[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
寶暦二戌[illegible]
勤番[illegible]
御城入　同年[illegible]
寶暦十二申十二月廿日未刻出火[illegible]
[illegible]

御城代譜

寛永十酉年 三月廿二日 薨
明暦二申年 五月十八日 薨
寛文九酉年 十二月八日 薨
延宝四辰年 九月十九日 薨
延宝八申年 九月 薨
元禄九丙年 二月十四日 薨
享保十巳年 七月九日 薨
元文元辰年 巳四月 薨
元文四未年 四月 薨
宝暦二申年 七月 薨

厚之間御秘例 二十石

六十石
大久保吉蕃 印
松平丹後 守
松平右近 大夫
松平豊前 守
七十石
三枝 掃津 守
青山信濃 守
酒井下総 守
板倉下野 守
松平[illegible]前 守 後因備守
古屋名称少輔

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

寶暦四戌年十二月十九日薨
同九卯年十一月　薨
明和元申年十月廿七日薨
同土酉年四月薨
同又子年九月十又日薨
安永七戌年十二月朔日薨
天明又巳年
寛政八辰年
渡府来候し死去
同十二申年六月
享和二戌年八月
文化二丑十二月死去

中根大隅守
久世長門守
花房近江守
菅沼織部正
武田越前守
本多濱路守
小条安房守
近藤右見守
浦野老波守
松浦丹波守
松平信濃守

同年十月
同巳丑年四月
同
同十一申年十一月
文政三辰年正月
同八酉年無考
同年八月
同十亥年

同藤甲斐守
浦野中務少輔
高木伊勢守
松平伊勢守
戸田大隈守
松平勇作守
安藤出雲守
鳥居新枝守
松平對馬守
堀田伊勢守

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8

ガラス使用

享保四亥年三月
同十二未年閏四月二日
同十九寅年九月
元文二巳年十二月
延享四卯年九月廿七日
宝暦八寅年八月四日
明和三戌年二月廿六日
安永三午年十二月三日
同八酉年八月三日
天明元丑年十二月廿一日

寛政四子年四月
同七卯年三月
同九巳年八月
享和元酉年十月
同三亥年二月
文化三寅年十月
同十酉年三月

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8

ガラス使用

二ノ丸 杉平右近
二千石 鴻池武郎
二千五百七十三石 川勝中勢

町奉行譜

神君御時代
慶長七ヒ年ゟ
元和二辰年ゟ
忠長卿御時
元和六申年ゟ
同年ゟ

井出志摩守
彦坂平六郎

門奈助左衛門
山田清右衛門

町奉行大目組譜

芙蓉間 千石寺 御役料五百俵

寛永九申年ゟ
同十八戌年ゟ

佐藤勘太郎
拝賀 勘太郎

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

同十七辰年ゟ
兼寛元辰年ゟ
明暦三酉年ゟ
寛文六午年ゟ
同十戌年ゟ
同十二子年ゟ
元禄三午年ゟ
同四未年ゟ
同七戌年ゟ
同十二卯年ゟ
同十五午年 今年ゟ 横内組渡し大手組年ゟ成

落合小 草ゟ
三宅 左ゟ渡
渡邊 孫助
畏野長十郎
冨永 孫左衛門
大久保 長ゟ渡
秋田 草左ゟ
大鶴雲四郎
佐久間小左衛門
鈴木 長九郎
水野小左ゟ門

正徳弐辰年ゟ
同五未年ゟ
享保三戌年ゟ
同十一午年ゟ
同十五戌年ゟ
同十六亥年ゟ
元文元辰年ゟ
同五申年 松本年ゟ同六
寛延元辰年ゟ
宝暦二申年 松本年ゟ 同六子 鈴木仁左衛門
明和四亥年ゟ
同八卯年ゟ
安永四未年

深津 八郎左衛門
村瀬 伊左衛門
津田 外記
小幡 孫市
筧 新左衛門
鶴 角左衛門
松浦 与次郎
筒井 周苑
小幡 又十郎
中坊 左近
永井 宋女
土屋長三郎

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

同七戌年
天明元辛年
同二酉年
同八申年
同六寅年
享和二戌年
同七乙亥年
同十丙寅年
文化元甲子年
同七午年
同十庚辰年
文政元戊寅年
同十又年
天保元庚寅年
同十一子年
弘化元甲辰年
同四丁未年
嘉永元申年
同六癸丑年
安政元甲寅年
同二乙卯年
萬延元庚申年
文久元辛酉年
同三癸亥年
元治元甲子年
慶應四戊辰年
明治二己巳年
同十丙戌年
同十七甲申年
同十八乙酉年
同十九丙戌年
同廿丁亥年
同廿一戊子年
同廿二己丑年
同廿三庚寅年
同廿四辛卯年
同廿五壬辰年
同廿六癸巳年
同廿七甲午年
同廿八乙未年
同廿九丙申年
同三十丁酉年
同卅一戊戌年
同卅二己亥年
同卅三庚子年
同卅四辛丑年
同卅五壬寅年
同卅六癸卯年
同卅七甲辰年
同卅八乙巳年
同卅九丙午年
同四十丁未年
同四十一戊申年
同四十二己酉年
同四十三庚戌年
同四十四辛亥年
同四十五壬子年
同四十六癸丑年
同四十七甲寅年
同四十八乙卯年
同四十九丙辰年
同五十丁巳年
同五十一戊午年
同五十二己未年
同五十三庚申年
同五十四辛酉年
同五十五壬戌年
同五十六癸亥年
同五十七甲子年
同五十八乙丑年
同五十九丙寅年
同六十丁卯年
同六十一戊辰年
同六十二己巳年
同六十三庚午年
同六十四辛未年
同六十五壬申年
同六十六癸酉年
同六十七甲戌年
同六十八乙亥年
同六十九丙子年
同七十丁丑年
同七十一戊寅年
同七十二己卯年
同七十三庚辰年
同七十四辛巳年
同七十五壬午年
同七十六癸未年
同七十七甲申年
同七十八乙酉年
同七十九丙戌年
同八十丁亥年
同八十一戊子年
同八十二己丑年
同八十三庚寅年
同八十四辛卯年
同八十五壬辰年
同八十六癸巳年
同八十七甲午年
同八十八乙未年
同八十九丙申年
同九十丁酉年
同九十一戊戌年
同九十二己亥年
同九十三庚子年
同九十四辛丑年
同九十五壬寅年
同九十六癸卯年
同九十七甲辰年
同九十八乙巳年
同九十九丙午年
同百丁未年

山崎正卿君
小田切春江君
依田百川君
戸川大学君
渡部彦三君
井上友一君
幸文冊下
改正未了

町奉行 横田組譜

寛永九申年分
同十二戌年分
正徳保二酉年分
享元保十年分
寛文九酉年分
同十二子年分
元禄十七年分
同十又年迄保宗發府町奉行
一組減ル之分保ノ發府ニ帰ル
改政訓ル保ノ法々横田陸保
ノ時漕ル中ノ大半ニ去ル

長崎奉行
大阪市ノ惡
神保二帰ル
猪ノ左史
長田ノ方面
大阪市ノ惡
松植平右ヘ
天野傳四郎

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

御代官譜

寛永九申年八月

寛永七寅年
正徳乂未年
享保十四酉年
同十九寅年
元文三午年
寛保二戌年
延享元子年
寛暦乂子年

中島市郎兵衛
井出重右衛門
鈴木小右衛門
小林又右衛門
會田傳右衛門
山田次郎右衛門
永井孫次郎
足田庄九郎
大屋杢之助
小川新右衛門

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

寅曆六七年
同十辰年
明和元申年
同七寅年
天保八申
寅政二戌
同六寅
文化元子
同十酉

安村孫太郎
會田伊太郎
小田切新文郎
柴村田茂三郎
平岩長太郎
小笠原仁太郎
望田松三郎
小望田三太郎
山田藤太郎
伊東友之助
羽倉印紀

駿河國志卷第四目録

府内神社佛閣

賤機山淺間社總社山宮奈吾屋社祭神

神領并社人社僧分限

國府天神　少將井社

雷社　天滿宮

國中神社之數　國中寺院之數

國中賜官印寺　府内無官印寺

但國中無官印寺院繁多故除之

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

駿河國志第四

府内神社

○風土記ニ又號ニ青葉岡トアル宜ナリ

山上憶良

名勝志 府城西五町余子有 風土記云又号青葉岡

○賤機山社 府城ヨリ六町西

舊河路乃青葉岡爾身波（スルカテノアホバノヲカニミハ）

淺間本社 山宮本社

須禮止袖波千志恩丹成（スレドソデハテシヲニナリ）

惣社本社 奈吾屋本社

茂古曾（モコソ）（下顯トアリ）

古可多之

御朱印社領貳千六百石余

○淺間本社ハ木花開耶姫命相殿瓊々杵尊万幡姫命所

總社淺間其神大巳貴富嶽二神在靜機山廟前三重閣棟宇

祭也醍醐帝の依勅頼延喜年中當國富士本宮淺間ハ

翬飛飾以金碧柱楹三十二圍皆六尺其前有舞殿廊廡

勸請（もとうつて）新宮と云 徠古ハ勅使參向有とつ（ことゝ今ハ）

廻合直接樓門門彫采同三重閣皆用銅瓦其前二天門仁王

（かくなる他ハ）年中ニ神事多く朝儀の式ハ用ゆ古来の勅額神

並立是爲正門外有石溝周之廟庭七十餘方多栽櫻樹坤

寶記録ハ兵火の爲ニ燒失故不詳開耶姫命ハ淺間と稱ス

隅有曲池池東爲寶庫及鐘樓鐘文歷元年所鑄其色

梵鐘延長年後二度鑄改

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8

ガラス使用

古緑銘字粗可讀池北爲摩利支天祠其西爲奈古屋祠廟
ハ勢州朝熊の神社と御同称也本範開耶姫命の御別名葦姫
官百人廟田二千六百十三石毎歳二月二十日有神會
と云葦姫と朝熊同訓なるゆへにさかいふ古代のまゝ富士淺宇
麻神社と書きせとうと訓ふ朝熊に於ては其後略訓して
淺間と稱せ後世漢字を以て淺間と書故に音に續て淺間
と稱ひ村上天皇御宇駿河の國司瑞夢ありて再奏聞のこと
社中再建有し以来代々の將軍家修理ありて特中天文年中
權現様御幼君の前駿府に於ては爲成御座砌より法乳望ゆ發別る
天正年中駿河御討入の節社頭御燒拂出来治し後に法建立ゆ
ゆ在の旨御祈乳ゆ後天正十四甲戌年今度淺間寄瑞を以御在回
府法造營ゆ御守ゆ神皇ゆ御朱印ゆ下竜社領ゆ法寄附有し
又慶長年中駿府法在城の時法造營格別結構ゆ御付御佩帯

東鑑貞應
三年二月廿二日
自駿河國進
使者申云一
昨日丑剋当
国惣社并
富士新宮等
焼失神史ト云
々亦昔年
小野道風總
社額火災
二罹り灰燼
惣社ノ二字
上代模ニテ
縮図アリ

の御劔御納今ゆ神寅ゆ有し其ゆ神寅ゆ無ゆ之ゆ法寄附の後ゆ
御代々法修復所なり滅ゆ神君天文年中ゆ法祈乳の上法理運
ゆ為遊御座法討陳の砌々法乳輪をゆ為發法現運のこ結構の法再
建ゆ御守法代々法治國の御祈乳所也

案ゆ　淺間神皇新宮ゆ弟村主姓高孝

○惣社本社　神部神社　相殿の神二座
類聚國史ゆ止良鰭大己貴神社　又延喜式ゆ當回安信部神
部社とゆ其ゆ以則惣社の御事ゆ有社ハ大己貴の大神ゆて淺ゆ次
又國史ゆ惣社ハ拷幡千々姫と瓊々杵尊両神ゆ案ゆるとありて
まゆらましきゆらなれども今ゆ本社ハ大己貴命にて瓊々杵尊と拷幡千々
姫ハ相殿ゆまし淺次神部神社ハ別社七社の中ゆ天照太神ゆまし淺次

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

紙花傳書八
荊暑己文をそゆひ
しるの五十二と
五月十九日充去
甚月の留諸悉
漸乃御参く
法余旅住つる
天日の申示とす
乾あるそ又面
の一國あらひ之
男 恕云無永七
年のすみ

日本武尊汁國をゆうまひし時遥拝の霊跡にて伊勢大神宮をまつりて

大の神遷宮ありて惣社の御神ともいふ当社とて国の神

所にて国の諸神集会しまふ大己貴大神ハ大国主の神也大物主の

神とも申葦原国津神從天孫降臨しまふ文倭文織の祖

捧機あく姫雅日女尊の女功の御事あらわされしとそあれとこ

織をつかさとる業にていふし云傳倭文織出凡の地のよし

荊紙叢序文に汁ありう皆破織の年としふ事有ある事をもて此古の

お子八年と 云支觀世三郎 詠湯天正年中の兵火にかゝりて傳しもとや 東濫こと破織の原は 徳な物語り云の誤也

清次あらん 苑作云八千子東濫の後堀河院御宇兼久四年二月廿二日自駿河国進使某中云一昨

あつえ清事か 廿日丑刻當国惣社并富士新宮等焼失神火云と 吾妻鏡 時言年建立の 称すう

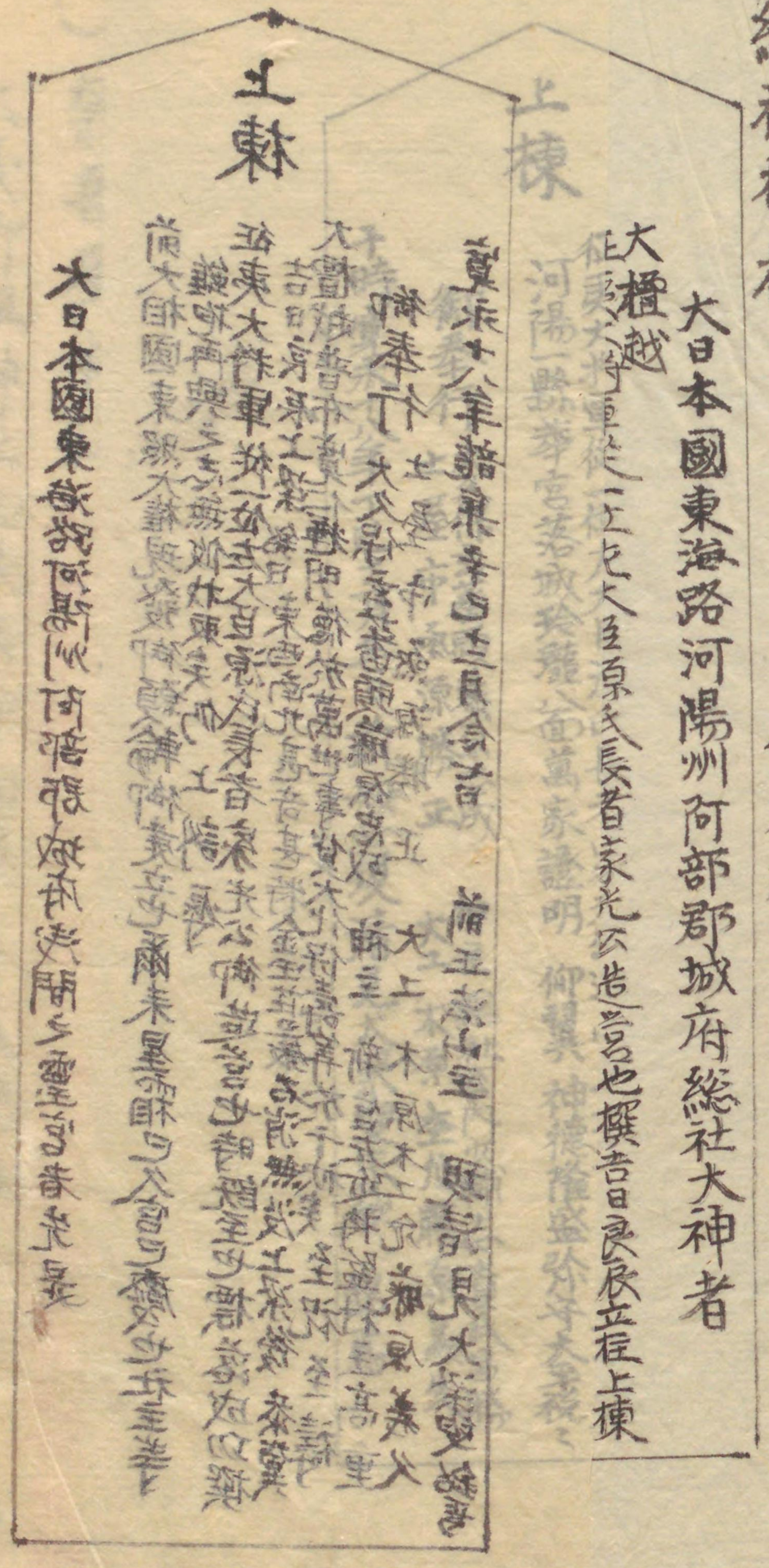
著りそん

祭主

惣社神主 惣社中勢志貴恭政

總社棟札

今不存



而下燭之則四方皆甃石上覆以巨石闊然方丈許中安石函長可
七尺其側樹石門門扉雕縷成花草状獲鏡及如刀環者鏡今藏
於廟官新宮氏家徑三寸五分半面破壊錆有
銹形蓋千歳物也

延喜式 式内廿二社の内也 然古は
官幣あらし社也

總社棟札

今不存

上棟

大日本國東海路河陽州阿部郡城府總社大神者

大檀越
征夷大將軍從一位左大臣源氏長者家光公造營也撰吉日良辰立柱上棟
河陽一縣華宮落城玲瓏八面萬家證明　仰翼　神德隆盛弥守太平祝々

御奉行　大久保玄蕃頭藤原忠成　神主　總社宮內少輔志貴氏昌勝
土屋市熱源勝正　大工　木原杢允藤原義久

于時寛永十八年丁巳十二月廿七日　前妙心現清見大梁叟宗欣　銘焉

上棟

大日本國東海路河陽州阿部郡城府浅間之靈宮者先是

前大相國東照大權現發御願輪御建立也爾来星霜已久宮已廢也社主等
雖抱再興之志無攸我取矣仍上訓辱
征夷大將軍從一位左大臣源氏長者家光公御造營也時既至也標落成功撰
吉日良辰上梁銘曰東西南北甚奇甚特金玉莊嚴石消無沒上梁後　衆冀
大檀越普布寛仁輝明德於萬世專貨大化保壽等於千秋矣　至祝至禱

御奉行　大久保玄蕃頭藤原忠成　神主　新宮左近將監村主高重
土屋市熱源勝正　大工　木原木工允藤原義久

寛永十八年龍集辛巳十二月念七日　前正法山主　現清見大梁叟銘焉

しもの五十二とか
五月十九日死去也
其月の冒頭に
御身乃御祈ありて
法示旅仕りつる
七日の申示とす
花ゆゑて又物
の一同ありしとて
異　恕云庶永七
年の事なるべし
花傳書序文
ホ子八年と云
此文觀世三郎
清次ならん
花傳云八重子
左の元清等か
著ハとしん

大の神遊戯をへて惣社の御神とかなるものなりし惣社とは面の神
所にて国の諸神集会しまふ大己貴大神は大国主の神も大物主の
神とも中華法国諸神伝従天孫伝守護しまふ又倭文幡の名を
搖機なく姫　推日女尊の女功の御事なりけるとも云へるとて
織さつまる常とていはしへより云傳倭文伝織出の地のよしなり
ホ付あまり皆　服織の産といふ事も有ある事なるべきて其古の
祇源天正年中の名也なりけり侍らもとも　東鑑にも服織の産を
他ら俗解なる他は誤也
東鑑ニ後堀河院　兼久四年二月廿二日自駿河国進伎若中云一昨
サク丑刻當国惣社并富士新宮等焼失神史云々　恭時吉年建立の
社なり

祭主　惣社神主　惣社中務志貴恭政

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

能花傳書八
前畧亡文それぞ
しもの五十二とか
五月十九日死去也
其月の冒頭に

日本武尊は岡ありけり時遥拝の霊跡にて伊勢大神鎮祭なりとて
右の神遊戯をへて惣社の御神とかなるものなりし惣社とて面の神

上棟

大日本國東海路河陽州阿部郡城府浅間之靈宮者先是
前大相國東照大權現及殿御願輪御建立也爾来星霜已久宮已廢也社主等
鑵抱再興之志無能我與矣仍上訓
征夷大將軍從一位左大臣源氏長者家光公御造営也時既至也標落成功撰
吉日良辰上梁今日東西南北遠奇甚將金玉莊嚴名消無没上梁後恭撰
[illegible]

上棟

[illegible]
大日本國東海路河陽州阿部郡城府浅間之靈宮者先是
[illegible]
大檀越
[illegible]
今不存

惣社神主
惣社中務志貴春政

○奈吾屋本社 嶽廟奈古屋祠後初有古松二株天和辛酉歳雷震其樹而枯越二十餘年松仆地陷窺之如空洞縋
大藏御祖神社 玉依姫命桐敷素盡鳴尊雷神を勧請
而下燭之則四方皆甃石上覆以巨石閟然方大許中安石函長可
尺言田天皇四年養己祭之延喜式式内廿二社の内也 往古は
七尺其側樹石門門扉雕縷成花草状獲鏡及如刀環者鏡今藏
官幣市有之社也 於廟官新宮氏家經三寸五分半面破壊踏有
鈴形蓋千歳物也

上棟

大日本國駿州阿部郡奈古屋大明神 御奉行大久保玄蕃頭藤原
忠成土屋市丞源勝正
大檀越
征夷大將軍源氏長者家光公御造営也神主新宮左近將監村主高重
寛永十八歳念辛巳十二月廿七日
大工 木原木工允藤原義久
清見大梁書

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

駿河國安部郡府内山神社 御奉行 大久保玄蕃頭藤原忠成土屋市亟源勝正

上棟 征夷大將軍源氏長者 家光公御営也 神主新宮左近將監村主高重

大工 木原杢藤原義久

寛永十八年龍集辛巳十二月念七日 現清見大梁 倣言

○奈吾屋本社 嶽廟奈古屋祠後初有古松二株天和辛酉歲雷雨震其樹而枯越二十餘年松仆地陷窺之如空洞縋而下燭之則四方皆甃石上覆以巨石閟然方丈許中安石函長可七尺其側樹石門門扉雕縷成花草狀獲鏡及如刀環者鏡今藏官幣市有之社也於廟官新官氏家經三十五分半面破壞鏡有鈴形蓋于歲物也

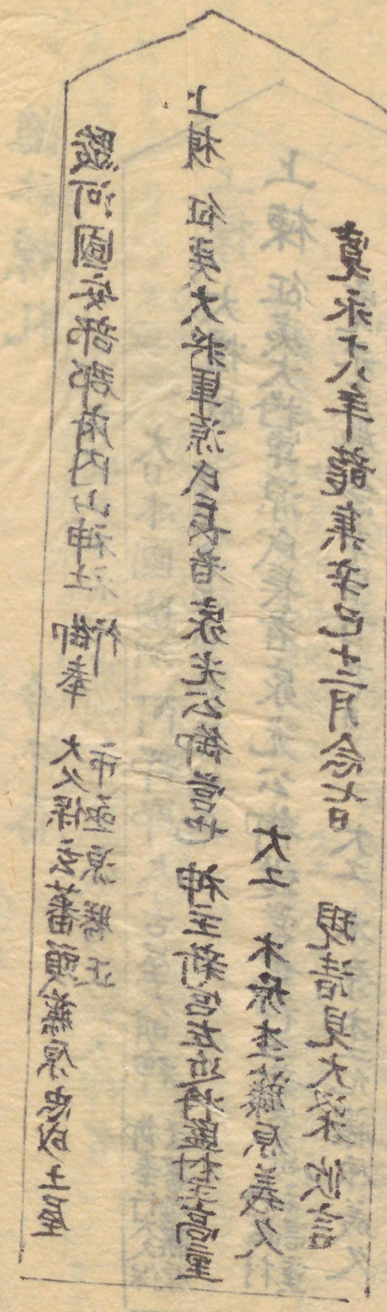
新宮 今弟 村主高孝

国立国会図書館 駿河国志 8巻 特1000-8

ガラス使用

○山宮本社　　禁山神社トモ云

淺間社の山上にあり木花開耶姫命の父神にて大山祇命奉勸請されたる初夏仲冬の申の日淺間山宮へ神幸の神事有岡の宮幣の社皆申の日に神事あり富士本宮と尚新宮とは初申後用ゆ八幡三保の社なれは次の申後用ゆ相殿日本武尊なり應神天皇の御宮勸請なり



新宮　名称　村名高孝

○奈吾屋本社　嶽廟奈古屋祠後初有古松二株天和辛酉歳雷震其樹而枯越二十餘年松仆地陷窺之如空洞縋而下燭之則四方皆甃石上覆以巨石闕然方大許中安石函長可尺言田天皇四年登已祭之延喜式式内廿二社の内也　往古は七尺其側樹石門門扉雕縷成花草状獲鏡及如刀環者鏡今藏官幣中有之社也　於廟官新宮氏家經三寸五分半面破壊瑞有鈴形蓋千歳物也

紙花傳書八
前畧亡父にてはひしもの五十二とか
五月十九日死去也
長月の冒頭に
淺法
天花の一
見
全
初
に
清
右
左
共

日本武尊は同ゆりまひし時遥拝の靈跡にて伊勢大神の神祭なるにて
右の神遊行をへて惣社の御神とはなるものなりし惣社とて面の神

大日本國東海路河陽州阿部郡城府淺間之靈宮者先是
前大目國東照大權現殿御願輪御建立也爾来星霜已久宮已廢也社主等

[illegible]

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8

ガラス使用

志清ちとのゆもうしおりぬ君の代まなりしなきやの恵の中風
廟庭古鐘永祿之變失所在享保年總持院僧渉安水汝嘴
たの外太田道灌入道の祝今川家奉納の和奇あるこなりし畧也
有異禽其聲如日總持院就視則見鏡旋楷汝出之廟鐘也
乃攢還廟庭云　參詣　彩宮參詣村　高孝

淺間末社

三之御前社　參詣　瓊々尊　相殿二座

神明社　參詣　伊勢御宮

摩利支天社　御守摩利支天尊形御金印

右御印者　權現樣常御請訴ニ於爲定御守敬之御令事也爰之
御異夢の御告ありて御出陣の時ニ於流　御身御利運の後ニ淺間の
社一因ニ下ニ在御建立法願既ニ成就淺間の末社といへども本社同樣ニ
結構ニ御造營ニ　御守世社法採札ニ詳也　御令事彩宮參詣記

天滿宮　參詣　菅原道真公

春日社　天兒屋根命

諾神社　高皇産靈尊

熊野社　伊弉諾尊

一王子社　參詣　有社傳

稲荷社　保食神

荒神　參詣　素盞嗚尊

惣社末社

日本武尊遥年所

七社　參詣　天照太神

日小宮　誦訪天神　賤機三鳴足高

雅日灵女貴　武御名方　瓊々杵尊　搭機ゑゑ姫　大山祇

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

出雲社　　三穂津姫
八幡社　　應神天皇
伊弉冊社
神宮司藥師　　少彦名命
右十二神將ハ　　神祖御在城の前御祈祭生し剃ニ法建立
奉行島居播磨守法同明全阿弥殿ヨリニテ慶長九年以来

宗像社　　弁才天
母神社　　鬼子母神
荒神　　素盞嗚尊
山宮末社
荒神　　素盞嗚尊

岩戸社　　日本武尊
奈吾屋末社
荒神社　　素盞嗚尊
宗像社　　三女神

社中棟數

一本社四社　但三棟　淺間惣社山宮奈吾屋　一末社棟數　十八社
一拜殿　三ヶ所　一樓門　二ヶ所
一仁王門　一ヶ所　一舞臺　一ヶ所
一廻廊　二棟　一御藏　二ヶ所
一御供所　四ヶ所　一御供井　二ヶ所
一鐘樓　一ヶ所　一護摩當堂　二ヶ所

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

一番所　二ヶ所

右棟数合四拾七棟

此外

一鳥居　三ヶ所

一不浄所　二ヶ所　一小門　十ヶ所

惣合　五拾八ヶ所

社中坪数山宮共に

合七千三百八拾七坪　但三百六拾坪山宮分

社中小の角ヶ押廻し小の山際迄井垣都而百間余

右浅間社天正年中慶長年中造営之後　大猷院様御代

寛永十一甲戌年浅間御修復駿府御城松平豊前守に　上意有之

社中再造営之事　往古本社拝殿舞台廻廊楼門仁王門以下末社

焼失ありて後　諸国の勧進を以　古来棟梁彫刻荘厳精緻結構

之造営神宝祭器装束等まて新造　御住吉(?)も御代

大久保吉兵衛町奉行古屋(?)両人を以奉行頭

当社へ奉納の和歌神宝とするものあまたありといへとも　敬

うけて伝へし和歌の[illegible]御代(?)和歌にて[illegible]

[illegible]して[illegible]の[illegible]志津機山の神の[illegible]　今川氏親

西三条大納言実澄卿武田家勝頼法要の法則の[illegible]

当社へ和歌十首よりて奉納[illegible]

当時千里[illegible]のうちに[illegible]の[illegible]

帰りぬる[illegible]甲斐の[illegible]雪の[illegible]

其紀とにみえたれ故 弟の吉柳君なりひくる四方の風せ三十ノらん
車ありけれを 新書の文 和歌とも書きしかしぬ 永禄七年吉
吉辰 梶門末葉 新進 宮濱 敬白とあり 武田信吉
さきなりけれ神ならん 咲花の手向に所ゆゑ君が言の葉
浅間にて未詳の弟 横紙 迫繪図自信 芦力
若弟の事也 志川さて山姫のはらし 衣る可織也
慶長十二丁 羊 二月中旬
世外和歌 弟なり 文に器也
政事録云 慶長十六年 八月十三日 大御所浅間一出御
織地紙 放さしめ給ふ 目前紙 二所のあるを 甚異ホ
あまり海車の後 迫侍 放せ 皆不中 三三

同十七年 二月廿日 浅間宮へ 廿日 奮 寧相殿中 悔敗 法也
あり 於横浦 清説
同十八年 七月七日 大御所様 浅間へ渡御あり 御能七番
あり 梅若 宴 勤々 法能組

浅宮社内 遅羅(シヤムロ)図より 其絵の繪馬あり 其のいまれ 及ぶ 記事
山田政長祢仁左エ門府之宮崎巻染工或云 藁科農家子 倜儻有大志
渡河の国府馬場町 山田仁左衛門長政といふ者あり 父は
不屑治生産学 鈔及兵法 遊寓四方 久之無所遇 乃航海遅羅 実
謀 仁左衛門 者 武機軍 学の 絵 いはのひ 猶 貨物
慶長元和間也 會其国有六昆之 政長政以策干王王授以兵拒撃

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

之長政令其兵皆爲日本裝揚言日本遣兵來援戰大克追至六
の角ゐて年々長嵩に住まる町人と同伴し長嵩に到り史より
昆国都而還王以女妻之益任以国事數年威聲大振服屬旁
暹羅国人流れ住居し千時ゐ彼国隣国と年あり国王の
諸国王送以位讓之長政即位自称唵普羅暹羅謂天曰普羅唵
若縁サンフウと云長政の家量あり事を知て出歌しこ
普羅猶言天王云長政爲政尚威猛衆頗怨怒遇弑死或云以
飼し戦争の謀縁長政ゐ其ちうれ長政奇少あり其故ゐ
壽終初長政在本朝見天下新定以爲不足立功名乃慨然有航
彼国の人縁日本人ゐ仕之武具千ゐ追ゐ日本紙ゐ取扱
海之志會有商船赴交趾兵載抵臺灣轉入暹羅既擊
日本ゐ加勢至海中縁喝て長政爲大將隣国と合戦
六昆有功遂王其国或云国王弟謀反長政合義衆討平之王擢爲相
して勝利縁得る国を国王長政なりて嗣子と志く女
或云封必昆兒国傳至女因因亦雄勇有父風能以兵自固長政事
縁ゐて要を長政と満事し社稷ゐ産神国運し
世所傳不一或云尾張人或云伊勢山田人
軍船の圖縁論馬として暹羅国より寛永年中奉
○又再出寛永年有府商抵暹羅者國王唵普羅曰駿余故里乃
納を右の圖論年誌とは長政自筆のよし一変向朝
令減價而交易賈以十倍其還囑納戰艦図一於嶽廟其
乳望あるゆゑ不果千後毒殺して害せらるとこ
図艦上架巨砲二十道器械旗幟皆日本裝蓋図六昆之徒以表
匹夫なりしてかゝ夷なる国威をかゝ振ひかゝやかゝ奇
得意云唵普羅有姪曰治兵將適暹羅至峰陽會暹羅人曰
男の勇丈なり唵普羅遇弑国復大乱於是不果往府宮崎
巷有唵普羅宅阯或云唵普羅初本多里女槍卒
於論馬の事跡違　台聽豪傑中江戸へ
上覧あり其後天明八年申十二月五日淺間の社太々上と御先
論馬を不免災厄塵を委ぬ
寛政元年淺間の社司刑官兵部予は茅屋を訪来りて
決て曰去申年の春上と尚社詢物の論馬を媒ひまつり此絵
馬を　有德院殿の　上覧に備へし物故神室図前なり
しる家し縁仕立是ゐとのとなり所忘なりと悔ゐ語りし
故予室暦四のとし庚として殘埋るありし時も先考九道
ゐるかりて彼絵馬を謄写し尚先立まつりとて取出して兵部ゐ
無へりれは云服ゐ縁ゐ其縁謄写して而社頭上尚ゐと云

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

因社中山宮の山にて風雨の行かゝ大木をたれ来る事あり
しに甚根のあまりに大なる穴明まりの内の圓ある四方半
の内石にてまたこゝ中央に石擴あり巾三尺余竪八尺余り
蓋は屋根のめくに造り蓋の四側の縁に五寸縁にて角の
めくに出まる所あり蓋の全さ九百人持ちかりに有如へし
中ほどに四寸四方縁の穴あり縁を流れ小キ竿よりのとの
を入て内縁さかしめる其中にかゝ縁にて張を流れ掛ゝ引ゝく
音ありいかなる事にてかゝる物のあるとしに事を見て決
中侍侍る事を見し南のかゝに石門一有甚あまりにて太刀
の身折損まるとの出まり　手に鞘の甚金物縁頭よりの
物又は角の鏡のかまち志てるに八所のかとに絵の付くる

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

[illegible]

[illegible]

安永二癸巳年正月十二日夜淺間の山後桟本町といふる町
家より出来して西小風烈しくして山宮へ出し法りまより
淺間惣社の本社拝殿樓門廻廊供奉社一宇又不殘焼ぬ
奈吾屋の宮を本社拝殿樓門神供所迄後無難にしてあり
存せり淺間惣社も本社は今年役殿を法座なり
天明八申年十月五日又山後庁明町より出火西南風烈しく
役殿へ火移り淺間惣社本社拝殿廻廊法本社役殿并
十七年以前も焼ぬ事あり奈吾屋本社拝殿樓門神供所

[illegible]

○辞機山横截南北長一里爲府城右蔽其上有古墨今川氏
時其將石橋氏所居或城別堡及甬道阯具存其北疊石築成者
烽火基也

淺間領惣高貳千六百拾貳石五斗九升貳合六夕右配分
淺間神主
刑官名部
淺間神主
惣社中務
淺朱印
高四百七拾壹石三斗四升
内二十貳拾壹石貳斗九升七合八夕
案主役中村貳郎左配分
淺朱印
高貳百石五斗四升
右每家前々の法修復出来し爲て法白書院独礼中上具而濟時
法祈禱ハ 伝奴ハ爲 独礼中上今年ハ枚時後ハ法領仕来ルニ而
御代替し法礼中上時腹二鬢斗目腹分小神物代年ハ法礼四年
目正月十番法白書院法御一同し法代
社中大小し社務并社家社僧惣支配し役中條同達有し

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8

ガラス使用

一高壱石

一高五石七斗九升八合

一高三石三斗

一高九石壱斗九升

一高拾石弐斗八升九合

一高四石六斗

一高七石五斗八升九合

一高弐拾壱石九斗

一高弐拾八石五斗六升弐合

一高八石七斗九升

一高五石七升六合

同所 丹後大夫

一職掌 五人

浅間方 神子 三人

惣社方 神子 八人

雁方 小黒内蔵

同所 長沼数馬

同所 向笠主馬

弓役 田中織部

同所 内藤左太夫

同所 一高拾人 左衛

砂名 沼大夫 市太夫

一高四石弐斗弐升

一高壱石九斗

一高壱石六斗九合

一高弐石壱斗六升

一高拾四石六斗五升四合

浅間領 一高百九拾七石余

浅間領 一高三拾六石余

浄挑寺 無之

浅間領 一高四百八拾石六斗

一高拾五石

惣持院天台宗在蔵南北弗池之美甲於府下有烈祖南寺蔵銅磬一長尺許●其色如雨皮有喜保元年癸酉十二月三日検非違使左衛門少尉藤原朝臣光貞凡六字陽文也

玄陽院天台宗在蔵南前初號玄陽坊寺△烈祖時僧天海居此寺天海有智数遊於烈祖後徙住江都寛永

浅間三月會役 浅大夫

惣社三月会役 三郎大夫

浅間御蔵界 三郎大夫

踏舞 男役料

流鏑馬祭 弐人

惣社別当 惣持院

年以浄挑二月朔日日光御門主法會 城之部 秋乳

玄陽院

浅間護摩頭

一定光院

建穂寺 廿一坊

年以清孔清代暫清孔清自書院出沙一周年領物有之

高貳百貳拾 貳石七斗

清孔等 諸中建穂寺同行

久能寺 十坊

高七拾 八石九斗

高四拾石 六斗四升

高六拾 三石四斗

高四拾貳石 四斗七升九合

外ニ高拾石 八斗六升 四合出 同石

清水市以戴之分

帳面 砒角之分

合百人

三月會 家孔

大政小政領

清修慶科

社家 社僧 居屋敷分

四十人

六十人

○國府天神 騎射 靈り云 府城之西 宮内村ニあり

祭神 崇道 天皇 藤森 同所ニあり 無社領

此社元ハ府城の中ニあり 後ニ此所ニ移す 浅間の流鏑馬

の有之日ニ神輿ニ浅間の馬場へ出沙

○少將井社 侍る町の裏 清水庵ニあり 猿田彦古面 寛永棟札ニ有

祭神 素盞嗚尊 社地二千七百坪 神主 新谷常陸

此社と元ハ府城の中ニあり 此辺ハ下の産神ニ

滿年六月十五日祭礼有て 近年清水の前代 祭家

神君清水雅の清所今川家へ修ひしてらゐ入所 此所ニ至ましまして之の

雷の社 雷公祠在下石巷祠官 雷電寺 家下ニ居ましまし

祭神 大歳大祖神也 七百三十月 清水清代 長三十間 横十間

此社府中九拾六町の産神と云 町中の諸事物を此社

ニ綱宣と云

遷新谷巷又今地今留守門即廟門云廟宮新谷

小梳廟 一曰少將井廟在縣衛東北其神素盞雀妃稲田姫初城中寛永中

天滿宮　四足町にあり

祭神

○國中社　千九拾七社　内御朱印有之社　二十三社

社領高　八千貳百九拾三石七斗五升七合

内御朱印地七千八百九十九石貳斗七合

名勝志
雷宮　府城西にあり或云延喜式神名帳に賴る大歳御祖神社是なりと風土記に雷神と云故に土田原灌の葉京集に雷の文といひ加茂に續る　捧ちあくる徒にもうたるにかはてのくん加茂の神恒

[illegible]

○先宮稲荷社

○國中寺數　千四百十七ヶ寺

天台宗　二十二ヶ寺　内御朱印五ヶ寺

真言宗　八十ヶ寺　内御朱印十三ヶ寺

律宗　四ヶ寺　内御朱印四ヶ寺

時宗　十五ヶ寺　内御朱印五ヶ寺

淨土宗　百二十ヶ寺　内御朱印十四ヶ寺

淨土真宗　三十四ヶ寺　御朱印地無

法華宗　二百十ヶ寺　内御朱印十五ヶ寺

禪宗　臨淞宗　二百五拾八ヶ寺　内御朱印二十ヶ寺

曹洞宗　六百九拾四ヶ寺　内御朱印五十一ヶ寺

黄壁宗　十ヶ寺　御朱印無

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8

ガラス使用

淨土宗　御朱印地之分

金采山龍泉寺寶臺院　府中　ゟ三百石

御系略之云

寶臺院殿一品大夫人松樂尼　法室塔頭寺ゟ

始龍泉院殿華嶽州府中龍泉寺真永五年ゟ始ル嶺ノ寺龍泉寺ヘ葬ル後ニ當寺ヘ移ス

七月賜從一位改諡寶臺院又寺号寶臺院

台徳院殿　并忠吉君の御母公　西郷局於相ゟ也　西郷ゟ二御養子ニ貰ル

女実ハ脇坂淡路守安元長女也　天正十七己丑年ゟ

賜從一位　座臺院　淨土宗　在下総葛飾郡　玉桂山　知恩院末

開基　玉僧世賜榮

花陽院

神君ハ歳之在時号　竹千代君為質　行當国今川義元館　在祖母

源應院尼公許　甚隣有寺号知源院　住持名知短上人　於此

公掌書筆馬府同宿文慶者　毎陪従甚親加也　既後尼公逝

権現様御祖母

華陽院

同御五女亀姫君

一照院殿圓芳功心大清

女御殿　御母ハ松

大祐定孫ゟ別ル

御代御年祝国有

久世三四御度ニ表ニ

数多御度ニ表ニ

御成の名有ル事故

石燈籠二ツ　御寄

一照院様御位牌御祭

国民胡悔之縁

権現様御祖母

華陽院

御年九拾九才ニて

御逝去ゟ別ル

大祐定孫ゟ別ル

御代御年祝国有

女御殿　御母ハ松

久世三四御度ニ表ニ

数多御度ニ表ニ

御成の名有ル事故

石燈籠二ツ　御寄

一照院様御位牌御祭

国民胡悔之縁

去即知短上人為導師葬送戒名号花陽院殿玉桂慈仙大禅定尼

既而　神君威震四海勢耀八州慕旧好欲再崇知源院先此知

短遷化文慶在藝州廣嶋住持淨國寺焉再建知源院召文慶

為中興賜寺領　慶長十四年當尼公五十年忌時改寺号為花陽院

一照院殿圓芳功心大童女鶴姫　神君第十六之姫君　奥英勝院於

梶之方太田新六郎源康資　逸三事務の女実江戸但馬守ゟ女慶長十五

華陽院淨土院亦傳馬巻ノ有烈祖外祖母大河内氏墓相傳

寺ニ書此寺

府中　境内五千二百七十坪　三十石

東郡畠山村　三石二斗

府中　境内五千二百七十坪　十九石二斗

原郡江尻宿　ゟ十五石

府中　境内五千二百七十坪　ゟ三十石

東照宮御知行ゟ府中ゟ添ル御朱印地也ゟ云ゟ的も書ゟ出

来遠院　駿山真誉知超　永禄十年二月十五日寂

東照宮御知行ゟ府中ゟ添ル御朱印地也ゟ云ゟ的も書ゟ出

東照宮ゟ為ル　金屏風一双　紋彩色ニ入候ニ付　紋彩色ニ入候ニ付

師ゟ植楊梅ゟ有ル　植楊梅

御師ゟ石川源右衛門ゟ家ニ有ル故ニ　御師ゟ石川源右衛門ゟ家ニ有ル故ニ

当年閏統ゟ為ル上ゟ処ゟ　当年閏統ゟ為ル上ゟ処ゟ

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8

ガラス使用

淨土宗 御朱印地之分

金禾山龍泉寺寶臺院 府中 二百石

寶臺院殿一品大夫人松響貞樹大禪定尼之法室塔前寺ゟ

御系略ニ云

始龍泉院殿華駿州府中龍泉寺寛永五年七月賜從一位改諡寶臺院又寺号寶臺院

あり 始ハ孤ヶ嶄龍泉寺へ葬後ニ前寺へ法改葬なり

台德院殿并忠吉君の御母公 西郷局於桐ニ于也 西郷左ニ御寶

女実ハ腹部平実正長女也 天正十七巳丑年五月十九日逝去 寛永五年

賜從一位 室臺院淨土宗在下魚巷有 台廟生母西郷氏寢

廟主僧世賜紫

知恩院末 玉桂山

花陽院 府中 二百三十石

境内五千二百七十坪

神君ハ歳之法時号 竹千代君為質行當国今川義元館在祖母

源應院尼公許 甚隣有寺号知源院 住持名知短上人於此

公学書筆馬府同宿文慶者 毎陪從甚懇切也既後尼公逝

權現様御祖母華陽院

同御五女市姫君

一照院殿圓芳功心大清

女御廟御基印松

久世三四郎廣宣依

命植ゆ也

石羅荒二字保二 御内

權現様御初陣御猛拭

御守 地蔵 江法蔵ヲ

廣ニ于他

大藏院様ヶ御代

個代御軍配国府

表令御役三表二ツ

汐汲の亀府法家級

一照院様御祖母凡十数

源氏胡幡之法

去即知短上人為導師葬送戒名号花陽院殿玉桂慈仙大禪定尼

既而 神君威震四海勢耀八州慕旧好欲再興知源院先此知

短遷化文慶在藝列廣嶋住持淨國寺焉再建知源院召文慶

為中興賜寺領慶長十四年當尼公五十年忌時改寺号為花陽院

一照院殿圓芳功心大童女鶴姫 神君芳十六之姫君母ハ英勝院於

梶之方太田新六郎源康資入道三樂斎の女実江戸但馬守ゟ女慶長十五

年庚戌閏二月十二日逝去五十七 當寺ゟ葬 華陽院淨土宗亦傳馬巷アリ

有烈祖外祖母大河内氏墓相傳

烈祖之為質於今川氏学書此寺

官崎山宝池院 鞍土寺 府中 境内三千七百七十坪余 二百十九石三斗

鞍土寺淨土宗在宮崎巷

来迎院 大甲山英長寺 府中 ハ千九百坪 二百三十石

淨土宗在横内巷北有 烈祖午植楊梅樹

江淨寺 一 庵原郡江尻宿 二百十五石

信康君御基ホ

専念寺 駿東郡葛山村 二百三石二斗

本号法院 聖徳 学 智恵院末

庵山芳蓋示寂

三百八十余

智恵院末

宮崎山宝池院 鞍土寺

宮崎山宝池院 大甲山英長寺

国立国会図書館 駿河国志 8巻 特1000-8

ガラス使用

清岸寺　富士郡原田村　二ヶ　拾貳石
福光寺　同郡　吉原宿　二ヶ　拾七石余
大運寺　同郡　二ヶ　拾石五斗
大順寺　同郡　大宮村　二ヶ　七石余
西安寺　駿東郡深良村　二ヶ　拾石余
敬念寺　益頭郡小川村　二ヶ　拾石余
平等寺　志太郡田尻村　二ヶ　三石余
化成院　同郡　荻川村　二ヶ　五石四斗

天台宗御朱印地之分

智満寺　志太郡千葉村　二ヶ　五拾石

東光寺　同郡東光寺村　二ヶ　十五石
東光寺　同郡上野村　二ヶ　三石
惣持院　府中　二ヶ　百九拾貳石九斗貳升
玄陽院　同郡　二ヶ　三拾六石貳斗五升
法華寺（宗叡山末）　高草山号定院　花沢村　長八十　横三十間　除地二石余

真言宗御朱印地之分

建穂寺　山陽国上駿郡報恩寺末　安倍郡建穂村　横四十四方　二ヶ　四百八拾石
久能寺（智積院末）　補陀落山新義　有渡郡大和村　八十四方　二ヶ　貳百貳拾五石
定光院　府中　二ヶ　五拾石
右三箇寺淺間領之内
光巌寺　墨郡鳥谷村　二ヶ　廿五石貳斗余

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

清水寺　志太郡稲葉村　二ヶ郡拾石
平澤寺　布岱山　自至院　有渡郡平沢村　二ヶ十石
靈山寺　庵原郡大内村　二ヶ十郡石
鬼巖寺　志太郡菱枝　二ヶ郡十石
小野寺　福王山　三向宮山　有渡郡三小野　二ヶ八石
清水寺　青羽山　同郡安東村　二ヶ拾石
國分寺　竜地山　金勝院　府中　長谷村　二ヶ八石
長谷寺　同郡　二ヶ四石余
東泉院　蜀土郡善徳寺村　二ヶ百九拾石
禪宗臨濟宗　御朱印地ニ付

清見寺　庵原郡興津宿　二ヶ郡百石
臨濟寺　安倍郡大鬼村　二ヶ百石
寶泰寺　府中　二ヶ四拾石
正經墓アリ　寺田五石　韓使来聘上官憩　宝泰寺中官憩　新光明寺
雲頼寺　志太郡九条村　二ヶ三拾石
大宗寺　庵原郡菅谷村　二ヶ郡拾石
永明寺　駿原郡沼津町　二ヶ拾四石
蓮光寺　同郡　二ヶ拾四石
松蔭寺　同郡東宿　四石六斗
德原寺　同郡　拾四石
耕雲寺　同郡沼津市宿村　拾三石四斗
新定院　庵原郡小芳郡村　拾石三斗

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

大中寺　　後東郡 沢田村　　二ヶ 拾七名 七斗
長福寺　　庵原郡 山原村　　二ヶ 五名 三斗
法雲寺　　富士郡 吾佐ヶ村　　二ヶ 拾七名 三斗
源立寺　　同郡 加島茅原村　　二ヶ 拾名
（除ヶ寺）
柴屋寺　天柱山　　有渡郡 丸子宿入 泉ヶ谷村　　二ヶ 五名 長三十四 横二十四
皓成寺　　安倍郡 内横村　　二ヶ 五名
（除ヶ寺）
雪門寺　　志太郡 浦戸形谷村　　二ヶ 或名 四斗
（除ヶ寺）
天津寺　湯光山　　安倍郡 大岩村　　二ヶ 五名
林香寺　　庵原郡 申井宿　　二ヶ 拾二名 七斗 余

禅宗曹洞宗

大正寺　　有渡郡 大谷村　　二ヶ 三拾名
長源寺　大光山　　同郡 宵谷村　五丁 山林 四方 御祭　　二ヶ 二拾名
成安寺　　富士郡 加島松島村　　二ヶ 或拾名 三斗
光照寺　　同郡 [illegible]村　　二ヶ 拾 六名
霊山寺　　後東郡　　二ヶ 廿七名 三斗
真珠院　　庵原郡 梅谷村　　二ヶ 拾五名
一葉寺　　同郡 庵原村　　二ヶ 拾四名
大泉寺　　富士郡 井出千福村　　二ヶ 拾六名 五斗
長光寺　　安倍郡 桂山村　　二ヶ 拾三名 五斗
（長源寺）
瑞龍寺　　同郡 春雲山 井宮村　　二ヶ 拾六名
（瑞龍寺）
德願寺　　有渡郡 内安地村　　二ヶ 三拾名

豊臣氏墓　夫人以天正十八年薨於京師茶毘葬送骨於此
瑞龍寺在桂木巷西杏烈祖夫人

室棹院　蜀土郡　二ヶ宿 [illegible]
奥禪寺　同郡 [illegible]村　二ヶ宿 [illegible]
夢明寺　同郡 [illegible]村　二ヶ宿 [illegible]
大悟庵　蜀土郡 [illegible]村 [illegible]寺 [illegible]　二ヶ九名
保壽寺　同郡 [illegible]村　二ヶ [illegible]
増善寺 [illegible]村 [illegible]寺 [illegible]山　安倍郡 [illegible]村 山林 [illegible]　二ヶ宿 [illegible]
林叟院　益頭郡 [illegible]村　二ヶ七名
盤脚院　志太郡 西方村　二ヶ宿 [illegible]
安養寺　蜀土郡 [illegible]村　二ヶ七名余
見性寺　安倍郡 [illegible]村　二ヶ九名
桃原院　駿東郡 [illegible]村　二ヶ六名

靜居寺　志太郡 伊太村　二ヶ三名
永豊寺　同郡 [illegible]村　二ヶ八名
定輪寺　駿東郡 桃園　二ヶ五名
永明寺　蜀土郡 [illegible]村　二ヶ八名
成道寺　志太郡 [illegible]村　二ヶ宿 [illegible]
永源寺　蜀土郡 [illegible]村　二ヶ七名
[illegible]雲院　庵東郡 [illegible]村　二ヶ九名 [illegible]
浄光寺　志太郡 伊太村　二ヶ六名
法明寺 [illegible]寺 [illegible]山　安倍郡 [illegible]村 [illegible]　二ヶ九名 [illegible]
心岳寺　志太郡 [illegible]村　二ヶ六名 [illegible]
玉泉寺　蜀土郡 [illegible]村　二ヶ六名 [illegible]

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

延命寺　同郡池野村　二百四十石四斗
敷恩寺　志太郡伊太村　二百五十石
撈巖院　有海郡有東坂村　二百五十石余
富洞院　志太郡浜戸新家村　二百五十石
大慈悲院　有海郡池田村　二百四十石四斗余
甲斐国原村善宗院末
觀昌院　同郡丸子村泉ヶ谷三丁四方　二百五十石
和泉谷ノ殿ニ出
天柱山
総苔寺　志太郡朝比奈村　二百四十石
曹源寺　安倍郡長田村　二百五十石六斗
同西郡銀村清水山源末
喬集寺　富月山　益氏郡高良村　山門四十四方　二百四十石
大泉院　志田郡塩田川保村　二百四十石
弘徳院　同郡野秋村　二百三十石
梅ヶ谷村善隆院末
法花寺　仏田山　有海郡西金村　塩ヶ谷三丁四方　陸代三百三十八年六月

万松院　同郡子持坂村新宿　二百三十石四斗
徒歌ヶ末
安養寺　仏谷山　有郡郡小坂村　長一里余　横半座余　二百廿八石
宗泰寺　志太郡菅原村　二百四十石
洞雲寺　同郡茂呂町　二百四十石
天徳寺　同郡大津庄大草村　二百七十石
信光院　同郡石津村　二百四十石四斗
桃源寺　有渡郡西吉田村　二百八十石四斗
梅林院　志太郡梅蔵村　二百八十石
安養寺　有渡郡一之村　陸代四万六千八百年　陸代五百年
小坂村　二百六十八石
同福寺　雲之山　同西方村桃原ヶ末
日蓮宗御朱印地ニ付
大石寺　富士郡上野村　二百六十石八斗

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

妙蓮寺　同郡西山　二ヶ五拾石
本門寺　同郡北山　二ヶ五拾石
久遠寺　同郡上小泉村　二ヶ四拾石余
本門寺　駿東郡西山　二ヶ五石六斗余

右ヲ富士五箇寺ト云

東光寺　富士郡中里村　二ヶ五拾石
光長寺　駿東郡長ノ家村　二ヶ五石
妙松寺　庵原郡小松野村　二ヶ拾五石四斗余
本城寺　同郡内房村　二ヶ拾石四斗
妙延寺　富士郡今泉村　二ヶ拾石　四斗
実相寺　同郡岩本村　二ヶ六石三斗

海定寺　有渡郡村保村　二ヶ八石
本覺寺　同郡池田村　二ヶ六石三斗
妙慶寺　同郡清水町　二ヶ四斗五升
妙祥寺　富士郡吉原町　二ヶ拾三石

時宗御朱印地ニ分

長善寺　一華堂　府中本通町　百五十坪　二ヶ三拾石　洋地十二ヶ石五斗
安西寺　同馬場丁　境内五九百十五坪　二ヶ八石四斗余
福田寺　秋月山　安部郡丸山　二ヶ五石六畝
曲光寺　駿東郡沼津町　二ヶ拾五石
金光寺　二ヶ五石

国立国会図書館　駿河国志 8巻　特1000-8
ガラス使用

津宗御朱印地

慶寿寺　志太郡大草村　二十石五斗

不報山不動院　ありま郡横内村　御朱印山林年

府内御朱印無之寺院

而其首持不銷怒披之地因分寺眞言宗在總持院東藏紺紙金書藥師經書法道明類元人筆意又有銅佛頭一面長可三尺相傳信云入本府毀佛像鑄為鏡子

無量山西福寺　寿富山玄忠寺　安祥山養國寺

古今山淨回寺　大浪町

蓮上山教身寺　西寺町

機教山弘願寺

長泉山祐億寺

聖德山極樂寺　佛心山善養寺

鷲宮山法傳寺　遍照山新光明寺

二子山善然寺

十三仏を四寺　正　西念寺　弥勒町

後来光院へ移

浅草光明寺来

専照山圓光院　福寿山大林寺

三醫王　佛日山瑞光寺　医王山顯光寺

万吉山淨光寺　安養山西蓮寺

天柱山　青龍山　禅原寺

法雲山身福寺　鳳基山小林寺

正覺山菩提樹院　龍花山安南寺

在下寺巻古之図分尼寺也升傍有没字碑即反人正雪墓

佛海山以信寺　用觸山守源寺

愛津山妙長院　然正寺

新光山念長寺　法春山妙縁寺

妙巣山安立寺　恩永山妙音寺

常住山感應寺　妙祐山宗林寺

長吾山浄祐寺　時宗　寺丁四丁目
勝治山新善光寺　日宗　紺屋丁
松江山教覚寺　西一向　日宗　上大工丁
福泉寺　東一向　日宗　上石丁
円常山明泉寺　日宗　横田丁
道因寺　日宗　横内丁
専長寺　日宗　横内丁
自然山真勝寺

鐘請山本行寺　紺屋丁
入江山西教寺　門徒宗　両替町六丁目
一戸山浄林寺　日宗　茶丁
東長山別勝寺　一向　日宗　車丁
法然寺　日宗　新通六丁目
常光寺　日宗　下石丁
無量山長徳寺　日宗　下石丁
修福寺　時宗　新通四丁目

正覚寺　善化宗　清水寺横

郭内寺院五拾八箇寺　内御朱印地七ヶ寺

府外の御朱印無之分の寺社共ハ畧し

弥勒町日蓮宗貞雲為庵　境内西壹畝廿歩　門前君僕八人[illegible]　寺僧[illegible]業不住[illegible]僕之十六[illegible]仕十三人[illegible]　不去主三人[illegible]　宝暦六年庚[illegible]　[illegible]　[illegible]

1000
8

国立国会図書館　　駿河国志 8巻　特1000-8

ガラス使用